



自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ

補足説明資料

2026.3.10

TIS株式会社

現在遂行中の中期経営計画の重要経営指標の達成を目指し、事業戦略及び財務戦略を包括的に推進中。本自己株式の取得については、「自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に記載の通り、「ROE16%超」及び「EPS成長 CAGR10%超」の達成に資するものと認識し、実施するもの。

また、近時の生成AIの急速な進化及び普及に伴い、当社グループを取り巻く事業環境は大きく加速度的に変化していくことが見込まれるなか、こうした状況を脅威ではなく新たな事業機会であると捉え、中期経営計画の基本戦略全てにおいて、生成AIの浸透を踏まえた成長戦略を推進していく方針であり、今後も持続的な成長及び企業価値向上が実現できるものと考えている。

中期経営計画(2024-2026)の要旨

基本方針	<h3>Frontiers 2026</h3> <p>フロンティア開拓を基本方針として掲げ、付加価値を伴った持続的成長をめざす 未来志向で市場開拓と事業領域の拡大を起点としたバリューチェーン全般の質的向上により、社会と顧客の変革を実現</p>				
	人材成長と付加価値 の循環 PH営業利益 3.5百万円超	稼ぐ力の向上 営業利益率 13.1% <small>調整後営業利益率13.4%*</small>	資産(=知財) の価値創出 ROIC/ROE 13%超/16%超	社会からの信頼 の獲得 売上高 6,200億円	価値ある成長 EPS CAGR 10%超
重要 経営指標	市場戦略				
	サービス戦略	テクノロジー戦略	知財戦略	人材戦略	

AI産業革命を事業機会と捉え、生成AIの浸透を踏まえた成長戦略を推進

AI産業革命を成長機会と捉え、TISインテックグループ一体経営により成長を加速

経営環境認識

- AI産業革命はIT需要を拡大させるもの
- AIを前提に基幹システム、業務、データの再設計が求められる
- ITは企業競争力の中核インフラへと一層進化

多くの企業が抱える新たな課題

レガシー刷新

AIのPoC止まり

AI活用の社内浸透

データ/ガバナンス/セキュリティ整備

基盤モデルの評価/選定

顧客企業の業務とITに深く関わってきたSIerこそが解決を担う課題

当社グループの提供価値

- ミッションクリティカルな基幹システム構築から運用まで一気通貫で提供
- モダナイゼーションから先端技術まで、独立系として幅広い知財×技術による最適なインテグレーション
- 業界・業務×ITに関する深い知見を活かした顧客の業務効率化、競争力向上による定量的な成果を創出

コアコンピタンスが生み出す提供価値

顧客の事業ライフサイクル全域における“変革の不確実性”を解消
顧客との共創を通じて持続的な競争優位を生み出し、AIの社会実装を実現

AI駆動開発により“提供能力の飛躍的拡張”と“収益モデルの高度化”を実現し、これまで以上に顧客提供価値を拡大

当社独自のモダナイゼーション技術を活かした基幹システム刷新

長年培ってきた知財と技術を組み合わせた当社にしか出来ない業界特化エージェントAI

成長を加速させるためのM&A

顧客変化に合わせた提供価値

AI基盤準備フェーズ

知識資産化フェーズ

業務変革フェーズ

事業変革フェーズ

AIを使える状態へ

IT×ビジネス×業界専門知識を持つコンサルタントが課題解決を導き、実装まで行う

AIで業務を動かす

当社エンジニアが有する顧客同等レベルの業界・業務に関する暗黙知を活用したエージェントAIを提供

AIを定着・進化させる

現場最前線エンジニアによる課題解決、浸透、フィードバックループから顧客業務を進化・高度化

新時代の事業を共創

当社次世代事業(ステーブルコイン、ヘルスケアなど)による新時代のビジネスを共創

ITで、社会の願い叶えよう。



TIS INTEC
Group